



令和4年度 居住支援全国サミット  
令和5年3月17日開催  
(収録日 令和5年1月26日)

## “とんとんとん”を支えたい

－世界自然遺産の島で居住支援を考える－

鹿児島県奄美市居住支援協議会設立準備会

(共同事務局)奄美市総務部プロジェクト推進課官民連携推進室

## 目次(CONTENTS)

01

奄美市について

02

本市の住宅政策について

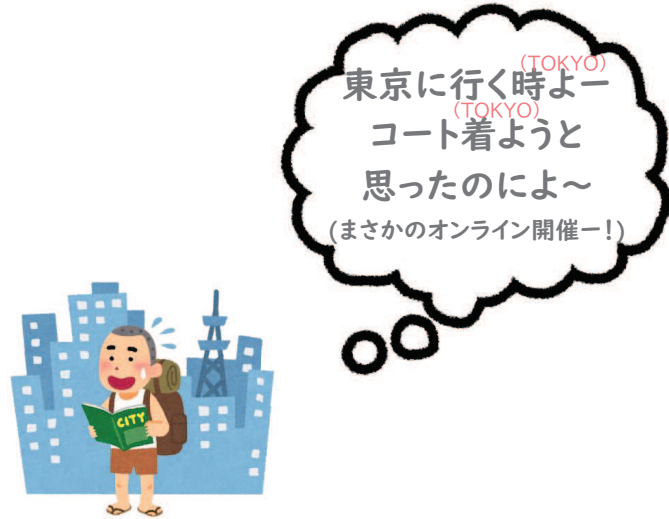
03

居住支援の取組について

04

これからの方向性について

## 本題に入る前に



## 自己紹介①

名前 : 永井 美香



所属 : 奄美市役所(平成19年度入職)

年齢 : 39歳(昭和58年生まれ)



初恋はSMAP

長所 : 明るい



青春はN503iSとともに

短所 : おっちょこちょい



好きな食べ物 : オムライス





## 自己紹介②

### H24～H30 保健福祉部高齢者福祉課に在籍

・福祉従事者(おもに高齢者福祉)の大変ながらも専門職として責任とやりがいにあふれ笑顔で働く皆さまと出会い、感動と気づきをいただく。

・多くの高齢者が住宅に関する問題を抱えていることを知る。

・福祉部局で出会った上司、先輩、同僚からその後の居住支援を進めるうえでたくさんの協力・支援をいただくこととなる。

福祉ってすごい！  
まさしく  
プロフェッショナル！

### H31～R3 建設部建築住宅課に在籍

・老朽化した市営住宅の修繕や入居者間のトラブル・苦情対応等に日々奮闘している住宅管理の若い職員達の負担を軽減したいと思った。

・高齢者福祉課で業務を共にした先輩が住宅政策係長に。従来建設部には無かった福祉との連携の重要性を訴える契機となった。

・住宅管理や市営住宅更新を検討する中で住宅確保要配慮者の居住の安定を図る重要性を考えた先に居住支援の存在を知る。

・建設部局で上司や技術職員等の事業の推進力・機動力・決断力に触れ、事業を動かす手法や覚悟を学んだ。

優秀な若手職員が  
忙殺されている…！  
福祉との連携が  
必要だ！！

### R4～ 総務部プロジェクト推進課へ

・居住支援を全庁的に推進するべく、業務とともに総務部に異動し取り組むことに。

居住支援  
頑張るぞやんす！



## 目次(CONTENTS)

01

奄美市について

02

本市の住宅政策について

03

これまでの取組について

04

これからの方向性について

## 奄美市の概要



### 【人口】

41,670人  
(R4.12月末現在)

### 【地理的条件】

鹿児島県本土から  
南西に380kmに位  
置する奄美群島の拠  
点都市です。

### 【面積】

308.33km<sup>2</sup>

### 【主な産業】

本場奄美大島紬  
黒糖焼酎  
農業  
(サトウキビ、果樹等)  
観光業



奄美・沖縄世界自然遺産  
AMAMI-OKINAWA World Natural Heritage

### 【ニュース】

○令和3年7月26日、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部(やんばる)及び西表島」として日本で5番目の世界自然遺産に登録されました。国特別天然記念物指定のアマミノクロウサギをはじめとする数多くの固有種や希少生物が生息する「生物多様性」が高く評価されています。たくさんの生き物・植物に会いに来てね！

○来年度鹿児島県で開催予定の「燃ゆる感動かごしま国体」において『相撲競技』が本市で開催されることので、盛り上がること間違いなし！ぜひ多くの皆さまのお越しをお待ちしております！



# とんとんとんのこもりうた

作・絵 / いもとようこ 協力 / 浜田 太 発行所 / 株講談社

奄美大島と徳之島にのみ生息する国特別天然記念物、アマミノクロウサギ。およそ1200万年前から今日まで命を繋いでいる奇跡のうさぎのおはなしです。

生態に謎の多い生物でしたが、写真家の浜田太さんが子育てをするアマミノクロウサギの観察に成功しました。

母うさぎは子育てのための巣穴に赤ちゃんを産み落とし、2日に一度授乳に訪れるのです。

たった2分前後という短い授乳なのですが、子どもを巣穴に戻したあと20分以上もかけて母うさぎは巣穴の入り口を塞ぎます。全身を使って土を集め、前足で丹念に何度も何度もまるで壁を塗り固めるかのように、塞いでいきます。

ときには「もう穴はじゅうぶんに塞がっているのに…」といったくなるほど。



# とんとんとんのこもりうた

作・絵 / いもとようこ 協力 / 浜田 太 発行所 / 榊講談社



この母うさぎの様子はまるで、巣穴の中のこどもが安心して眠りにつくまでやっているのではないかしら？という発想から、この絵本が生まれました。

壁を塗り固める際に“とん とん とん”と壁を叩く音はおなかいっぱいの子うさぎが安心して眠りにつけるようにとまるでこもりうたのように響きます。

安心できるおうちが大切なことをアマミノクロウサギは太古の昔からちゃんと知っていたんですね。

この自然の営みが未来永劫続くように、奄美市では様々な自然環境の保全活動がなされています。

では、人間の社会での安心できる住まいはどうでしょうか？

## 目次 (CONTENTS)

01

奄美市について

02

本市の住宅政策について

03

これまでの取組について

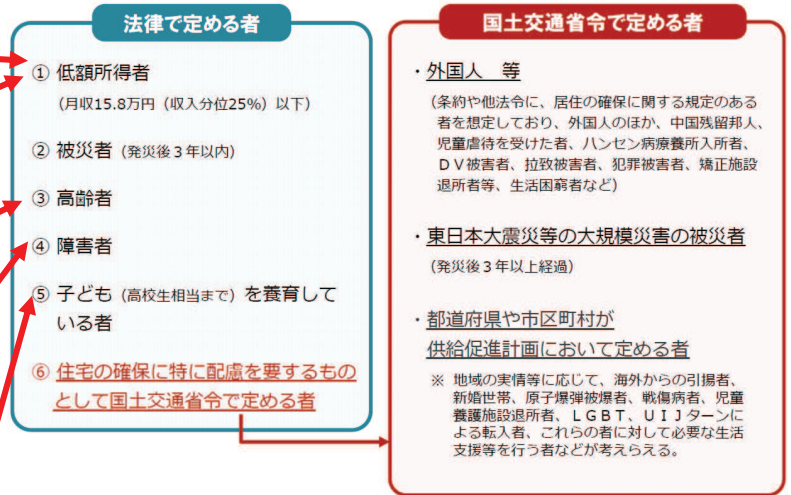
04

これからの方向性について

# 新たな住宅セーフティネット制度(住宅確保要配慮者の範囲)と奄美市の現状

## 奄美市の現状

- 生活保護受給世帯(R4.3):2,035世帯  
→保護率(R4.3):64.0%  
(全国平均16.2%)
- 非課税世帯:8,752世帯  
(R4.2定額給付金対象世帯)  
→全世帯数の37%
- 高齢者人口(R4.9):13,845人  
→高齢化率:33.15%  
(全国平均29.1%)
- 身体障害者手帳所持者(R5.1):3,527名
- 療育手帳所持者(R5.1):673名
- 精神福祉手帳所持者(R5.1):964名
- 18歳未満のいる世帯数(H27):4,134世帯  
→うちひとり親世帯:622世帯(15.0%)



(国土交通省作成資料より)

## 奄美市営住宅の現状【令和4年12月現在】

### 奄美市営住宅戸数・整備率・入居待ち世帯 (※県営住宅は除く)

地区	整備戸数	世帯数	整備率	入居待ち世帯
名瀬	1,697	19,758	8.59%	433
住用	151	740	20.4%	3
笠利	372	3,107	11.97%	26
合計	2,220	23,605	9.4%	462

- 県営住宅も併せると公営住宅の整備率は13%程度。
- 整備率は鹿児島県平均の6.5%の約2倍。
- 7割以上の住戸が耐用年数の2分の1を経過。
- 昭和30年代～昭和50年代に建築された住宅が多数あり、耐用年数を経過している住宅も少なくない。
- 全体的に老朽化が進行しているにも関わらず、需要が高い。
- 名瀬地区では昭和40年代に建設を開始した複数の大型団地を管理しており、今後これらの団地の再整備が長期に亘り続く。
- 建替・大規模改修を問わず再整備に莫大な事業費を伴うが、その財政負担は非常に困難な状況。

### 奄美市営住宅の種類とその内訳

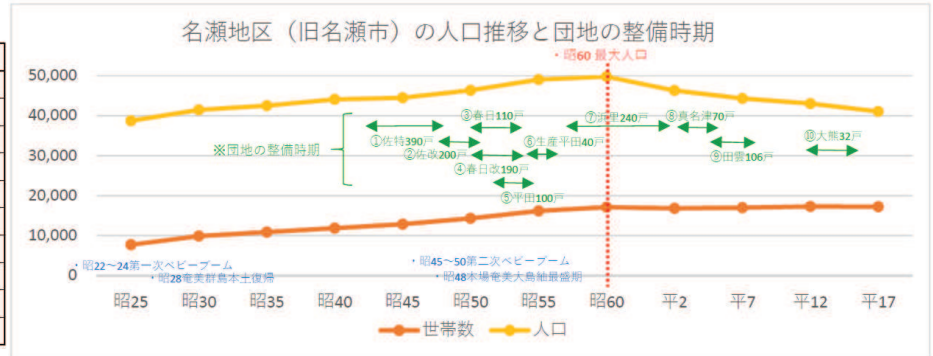
住宅の種類	戸数
公営住宅	1,670
改良住宅	450
特公賃住宅	22
奄美大島振興開発住宅	36
単独住宅	42
合計	2,220



## 名瀬地区の大型団地の建替について

### \*大型団地整備実績

団地名	棟数	戸数	戸数/棟	建設年度
佐大熊特定住宅(①)	13	390	30	昭43~48
佐大熊改良住宅(②)	7	200	20~40	昭47~49
春日公営住宅(③)	4	110	20~40	昭50~52
春日改良住宅(④)	6	190	20~40	昭50~52
平田住宅(⑤)	5	100	10~30	昭53~54
生産平田住宅(⑥)	2	40	15・25	昭55
浜里住宅(⑦)	8	240	30	昭57~平1
真名津住宅(⑧)	6	70	6~14	平3~4
田雲住宅(⑨)	9	106	9~14	平5~8
大熊住宅(⑩)	2	32	12・20	平12~14

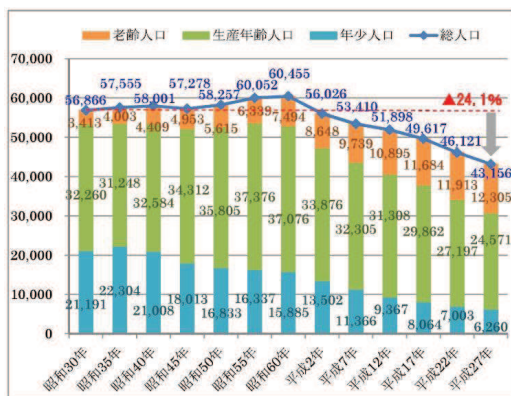


- 合併以前の旧名瀬地区においては、人口増に対応するため昭和40年代から昭和50年にかけて多くの集合団地を建設しており、これらの住宅が建築から50年を経過し老朽化が著しい。
- 人口減少に併せた建替戸数の規模縮減は必須。
- 人口は減少しているが世帯数はほぼ横ばい。家族構成の変容にも対応した整備が必要。
- 建替え後の住宅は家賃が上がるため、従来の入居者にとっては大幅な負担増となる。
- 団地の再整備においては民間ストックの活用も含めた総合的な住宅政策の検討が求められている。

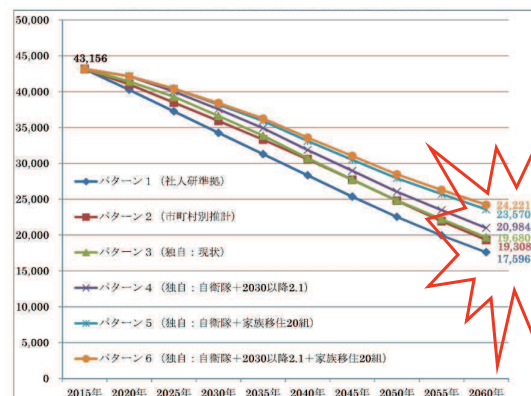
## 奄美市の人口推移及び予測

出典：奄美大島人口ビジョン2020

奄美市人口推移 1955年～2015年



奄美市人口予測 2015年～2060年



- 奄美市は、昭和60年(60,455人)をピークに令和3年末(42,163人)にはピーク人口比70%で、**5年ごと(国勢調査)に約5%程度の人口が減少**している。
- 今後、人口は大きく減少していく予想され**2060年には現状の半分程度の人口予測**となっている。

# 民間ストック(空き家)について

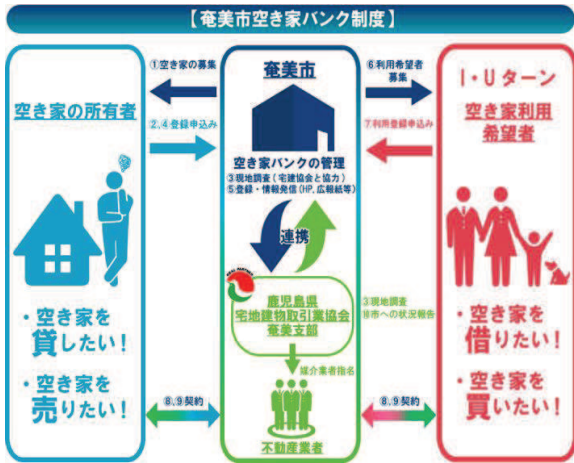
(奄美市空き家等対策計画より)

	空き家等の可能性				目視不可
	A	B	C	計	
名瀬	141	206	292	639	21
住用	28	37	26	91	5
笠利	56	168	65	289	4
小計	225	411	383	1,019	30
計	1,049				

判定A: 建物が良好であり利活用可能な状態。  
 判定B: 利活用するには、一部修繕が必要な状態。  
 判定C: 老朽等により周囲に危険を及ぼす可能性がある状態。  
 目視不可: 公道から外観を確認することができない建物



“空き家活用”は移住者向けの政策という認識だった。もちろんそれも大事。だけど…



← 空き家バンク制度

▶ U・Iターン向け 移住定住・住宅購入費助成事業

奄美市 移住定住促進のための住宅購入費、住宅リフォーム助成金についてのお知らせ

最大 **100万円** 助成金がでます!

U・Iターン者向け!

この助成金は、奄美市への移住を促進し地域活性化を図るため、奄美群島外から市内へ転入される移住者、もしくは移住者向け住宅をリフォームされる方に対し、各種助成を行います。※本事業は、予算範囲内での実施であるため、早期終了となる場合がございます。

▶▶▶ 各種助成

① 移住定住・住付リフォーム助成金  
奄美市域外から市内への転入者のための住宅を建設し、定住を促進することにより地域活性化を図る。移住者及び移住希望者が新築または中古住宅を購入する際に、最大100万円を助成します。但し、購入金額が助成額を下回る場合は実費負担となります。

基本金額	50万円
申請者1名以下	50万円
申請者2人以上	100万円

② 移住定住・住付リフォーム助成金  
奄美市内において移住者 (U・Iターン) に該当することを目的に新築して住宅をリフォームする場合、もしくは移住者がリフォームする場合に限り、最大100万円を助成します。

③ 移住定住・住付リフォーム助成金  
奄美市内において移住者 (U・Iターン) に該当することを目的に新築して住宅をリフォームする場合、もしくは移住者がリフォームする場合に限り、最大100万円を助成します。

④ 移住定住・住付リフォーム助成金  
奄美市内において移住者 (U・Iターン) に該当することを目的に新築して住宅をリフォームする場合、もしくは移住者がリフォームする場合に限り、最大100万円を助成します。

⑤ 移住定住・住付リフォーム助成金  
奄美市内において移住者 (U・Iターン) に該当することを目的に新築して住宅をリフォームする場合、もしくは移住者がリフォームする場合に限り、最大100万円を助成します。

⑥ 移住定住・住付リフォーム助成金  
奄美市内において移住者 (U・Iターン) に該当することを目的に新築して住宅をリフォームする場合、もしくは移住者がリフォームする場合に限り、最大100万円を助成します。

⑦ 移住定住・住付リフォーム助成金  
奄美市内において移住者 (U・Iターン) に該当することを目的に新築して住宅をリフォームする場合、もしくは移住者がリフォームする場合に限り、最大100万円を助成します。

⑧ 移住定住・住付リフォーム助成金  
奄美市内において移住者 (U・Iターン) に該当することを目的に新築して住宅をリフォームする場合、もしくは移住者がリフォームする場合に限り、最大100万円を助成します。

⑨ 移住定住・住付リフォーム助成金  
奄美市内において移住者 (U・Iターン) に該当することを目的に新築して住宅をリフォームする場合、もしくは移住者がリフォームする場合に限り、最大100万円を助成します。

⑩ 移住定住・住付リフォーム助成金  
奄美市内において移住者 (U・Iターン) に該当することを目的に新築して住宅をリフォームする場合、もしくは移住者がリフォームする場合に限り、最大100万円を助成します。

奄美市 プロジェクト推進課 TEL:0997-69-3186  
 〒894-8555 奄美市名瀬字町25番8号 Mail: pjsenyaku@city.amami.lg.jp

## 目次 (CONTENTS)

01	奄美市について
02	本市の住宅政策について
03	これまでの取組について
04	これからの方向性について



## 奄美市における居住支援の取り組み①

### 令和元年度

- ・ 鹿児島県居住支援協議会に加入。  
(鹿児島県内では一番最後の加入市町村。←※ごめんなさい)

### 令和2年度

- ・ 市の福祉部局において実施している自立支援協議会地域生活部会(障害福祉の住まい部会)に参加し、住宅の確保に困窮している方が多くいらっしゃることを福祉の現場の声から実感し、居住支援が重要であることを改めて認識。
- ・ 鹿児島県居住支援協議会開催の居住支援サミットで牧嶋誠吾氏の講演を聴き、担当者のやる気に火がついた。



## 奄美市における居住支援の取り組み②

### 令和3年度

- ・ 鹿児島県・住宅政策室のご担当者から国土交通省事業「居住支援協議会伴走支援プロジェクト」への応募をご提案いただき、**鹿児島県居住支援協議会と共同で**応募・採択を受け、本市における居住支援協議会設立に向けた活動を開始。

#### ☆おすすめです☆ 国土交通省事業「居住支援協議会伴走支援プロジェクト」

居住支援なんとかしたい!頑張りたい!と考えている自治体を支援する制度です。自治体での事業の予算化は不要で、ハンズオン支援を実施してくれます。本当にきめ細やかな支援でした!コロナ禍の難しい状況でしたが、オンラインでの庁内ヒアリング、頻回のオンラインミーティング、先進地自治体職員さんとのオンライン研修、現地での研修会開催などで我々を導いてくれました。

※事業の概要は次のページにございます!



- ・ 居住支援を進めるうえで庁内のコンセンサスは非常に重要であることから、関係部局担当者(市営住宅(住宅政策)・困窮者支援・福祉・空き家対策)の職員で先進地(大牟田市居住支援協議会)の取組みを一緒に学び、支援体制構築について意識の醸成・共有ができた。
- ・ 従来の空き家対策は、移住施策としてU・Iターンに特化した施策をとっていたため、今後の施策の在り方について協議を始めるきっかけとなった。
- ・ オンライン研修会等の機会は必ず関係部局の担当者へお声掛けし、共に受講した。
- ・ 福祉・不動産等さまざまな団体・事業者を訪問し、居住支援への理解・協力を依頼。
- ・ 居住支援協議会設立準備会立ち上げについて、悩みながらも地域福祉の主導者として、奄美市社会福祉協議会が本市の共同事務局を了承してくれた。

「居住支援協議会伴走支援プロジェクト」(令和4年度)の概要

**居住支援協議会の重要性と課題**

- 市区町村の居住支援協議会は、関係者の連携等を図る地域のプラットフォームの機能を果たすほか、居住支援団体等と連携しながら居住支援サービスを提供するなど、地域の居住支援体制において特に重要な役割を担っている。
- しかしながら、居住支援協議会を設立した市区町村は66市区町にとどまっている。そのため、住生活基本計画（令和3年3月）において、市区町村の居住支援協議会に関する成果指標を新たに策定するなど、その設立を促進することとしている。

一方で、市区町村では設立に向けて様々な課題を抱えていることも・・・

(例) 居住支援協議会の設置に意欲はあるが関係者の合意が得られない／どうやって設立すればよいか分からない など

- ➡ **居住支援協議会の設立意向がある市区町村を募集し、ハンズオン支援を実施！**
- ➡ **市区町村の設立を支援する都道府県を募集し、支援を実施！**

**■ 「居住支援協議会伴走支援プロジェクト」の概要**

部門	応募主体	採択予定	主な支援内容 ※個別状況に応じた支援を提供
設立部門 (①都道府県型)	<b>都道府県 又は 都道府県居住支援協議会</b> ※住宅部局・福祉部局の連名でも応募可能 ※複数市区町村の設立促進に取り組むことが要件	<b>2回程度</b>	①有識者、国交省・厚労省職員等の派遣 (勉強会の講師、関係者との調整等)
設立部門 (②市区町村型)	<b>市区町村</b> ※住宅部局・福祉部局の連名でも応募可能 ※都道府県/居住支援法人との連名でも応募可能	<b>4回程度</b>	②課題の相談及びアドバイス ③制度や他の協議会の事例、マニュアル、パンフレット等の情報提供
活性化部門	<b>居住支援協議会</b> ※都道府県/居住支援法人との連名でも応募可能		④第1線で活動されている行政職員や実務者の紹介 ※新型コロナウイルス等の状況に応じて、オンラインと対面を併用して支援。

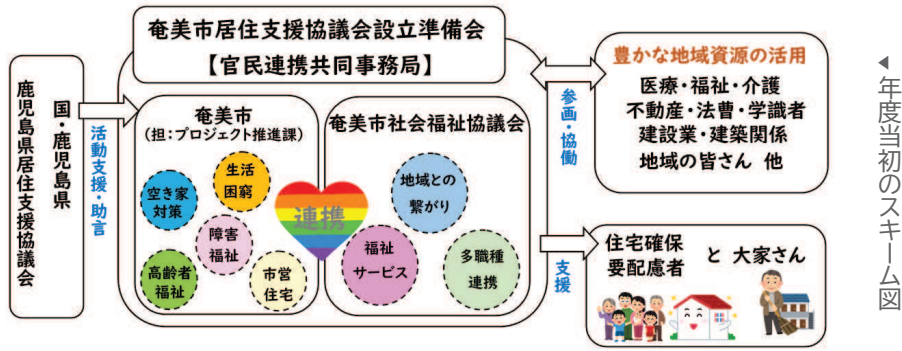
## 令和3年度までにわかったこと

- ①奄美市の福祉事業者はすでに居住に関する支援業務を実践されている。
- ②居住支援協議会事務局を担うことに民間事業者は大きな負担感を感じている。
- ③自治体の数だけ居住支援協議会のかたちがある。

奄美市らしい協議会のかたちとはなんだ？  
 事務局の担い手はどうなるのか？  
 奄美市社協との共同事務局で新たな課題に挑戦！

# 奄美市における居住支援の取り組み③

令和4年度



- 国土交通省住宅局との意見交換会の実施。
- 鹿児島県居住支援協議会との意見交換会。  
→やどかりサポート鹿児島・芝田先生の「(座談会のような)こうした議論を繰り返すことこそが“居住支援”だ」とのご助言で社協担当者の覚悟が決まった。「協議会事務局やりますよ！」
- 空き家相談会×居住支援のイベントを開催した。(※詳細は次のシートにあるよ)
- 設立準備会で座談会を複数回実施。認識の共有を図った。
- 居住支援シンポジウム鹿児島で事例発表(鹿児島県居住支援協議会からもらった決意表明の場と理解)

対話を通して奄美市における居住支援のあるべき姿を探っていく・・・

## 「空き家」・「持ち家」所有者向け相談会

- 大牟田市居住支援協議会・牧嶋氏による講演

→この中で奄美市民へ初めて居住支援を周知

- 空き家に関する各種制度説明

- 奄美市空き家バンク
- 奄美市危険空き家除去助成金
- 空き家の譲渡所得3,000万円の特別控除
- 住宅セーフティネット制度

- 空き家相談

- 空き家相談ブース:個別相談
- フリー相談ブース:なんでも相談



●鹿児島県住宅・建築総合センターの方に住宅セーフティネット制度について説明していただきました。



●事前予約による個別相談は内容に応じて適した専門家がお話を聞いてアドバイスをしてくれました。



牧嶋さんのご講演は楽しただけでなく説得力に満ちていて、わがまらのためにできることをやってみよう！という気持ちにさせてくれます。  
牧嶋さん、ありがとうございました！



●多くの市民の皆さんにお越しいただきました。皆さん真剣です！

## まーじん考えろでい!空き家と地域の住生活 ~住まいに関する悩みを相談しよう~

### 「空き家」・「持ち家」所有者向け相談会

参加費無料  
要事前申込

空き家を放置した際に起こりうる被害や負担増加などの問題点と相続・売却・リフォームし活用・解体など具体的な対策方法を学べるイベントのご案内です。長年空き家対策に携わってきた専門家による講演会の他、各種制度の紹介、各分野の専門家による個別相談を受けることができます。是非、お気軽にご参加ください。

開催日:令和4年11月12日(土曜日)13時30分~  
→11月8日(火曜日)までにお申し込みください。

場所:奄美市役所名瀬総合庁舎5階大会議室

- 内容:①講演会(約60分)  
大牟田市居住支援協議会事務局長 牧嶋 誠吾 氏  
②助成等各種制度の紹介(約25分)  
③空き家相談会(約180分)  
・事前申込の具体案件相談  
・当日申込のフリー相談

※相談会では、  
・弁護士 ・司法書士  
・税理士 ・不動産事業者  
・遺品整理士  
・ファイナンシャルプランナー  
・福祉事業者など各分野の専門家へ無料で相談することができます!  
(1件につき約30分程度)

相談内容をはじめとする個人情報取り扱いには十分配慮いたします。



- 参加申し込み方法●  
①WEB申請:右のQRコードを読み取り、奄美市のホームページで詳しいを確認・予約  
②直接お電話:52-1111(内線5432・5433)  
奄美市役所プロジェクト推進課

奄美市HP内申込案内



終わったー!  
ありがとうございました!

主催:奄美市 共催:鹿児島県住宅リフォーム推進協議会

## 目次(CONTENTS)

01

奄美市について

02

本市の住宅政策について

03

これまでの取組について

04

これからの方向性について

## 奄美市における居住支援これからの方向性

### 令和4年度の活動をとおして気づいたこと

- 社協の強み・・・福祉的知見, 現場対応, 多職種とのネットワーク
- 行政の強み・・・事務処理, 調整力, 政策立案施策展開, 庁内連携  
→全部やらなくていい。得意なことをだけやって補完しあう。



- 「福祉は“暮らし”」暮らしの中の問題は複数の困りごとが絡み合っている。  
→問題に対し異なる視点を持つさまざまな分野の人が率直に語り合える場所が必要。

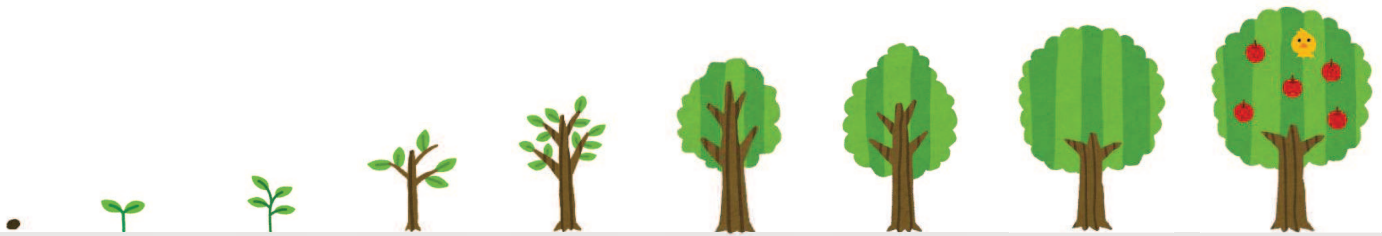
- 既存の支援体制を生かす仕組み・体制構築  
→すでに居住支援を実践されている支援者をサポートし, 持続可能なものになりたい。  
→社協の限りある人的リソースを最大限に生かせるスキームの構築が必要。

→Next  
奄美市らしい居住支援協議会のあり方とは！

## 方針

### ◎他業種間の垣根を下げる

### ◎支援者の支援

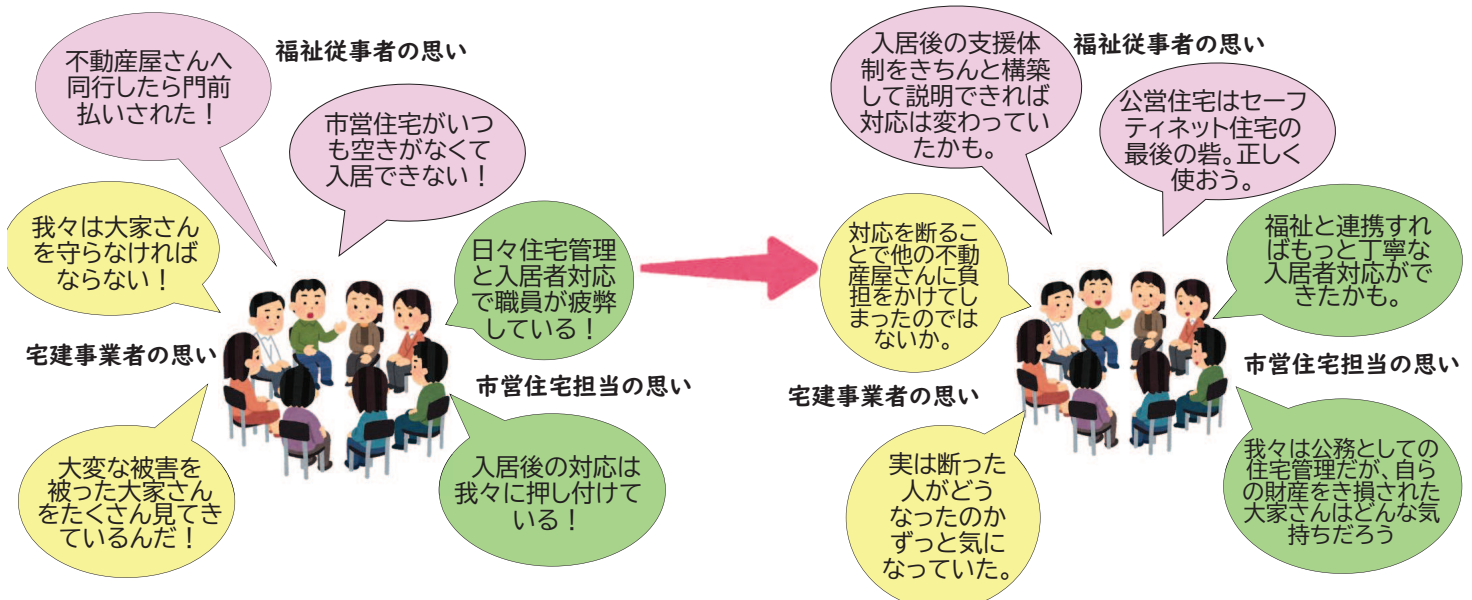


### ◎他業種間の垣根を下げる

相互理解のために重要なのは「対話」を繰り返すこと。率直に思いを伝え合うことで相手の考えが理解できてくる。自分にはない視点の相手との対話は大きな気づきが得られる。また、対話を重ねて顔なじみになることで横断的な連携体制が構築される。

はじめは…

回を重ねると…



## ◎支援者の支援

居住支援の窓口が社協に一元化されたらパンクしてしまう。窓口を設けても十分な支援ができないのであれば、すでに信頼関係が構築された中で実践されている居住支援が持続可能になるよう、支援者を支援する。

### 支援者の負担を軽減する



👉 個別案件について居住支援協議会専門部会で支援者とともに協議・方針決定

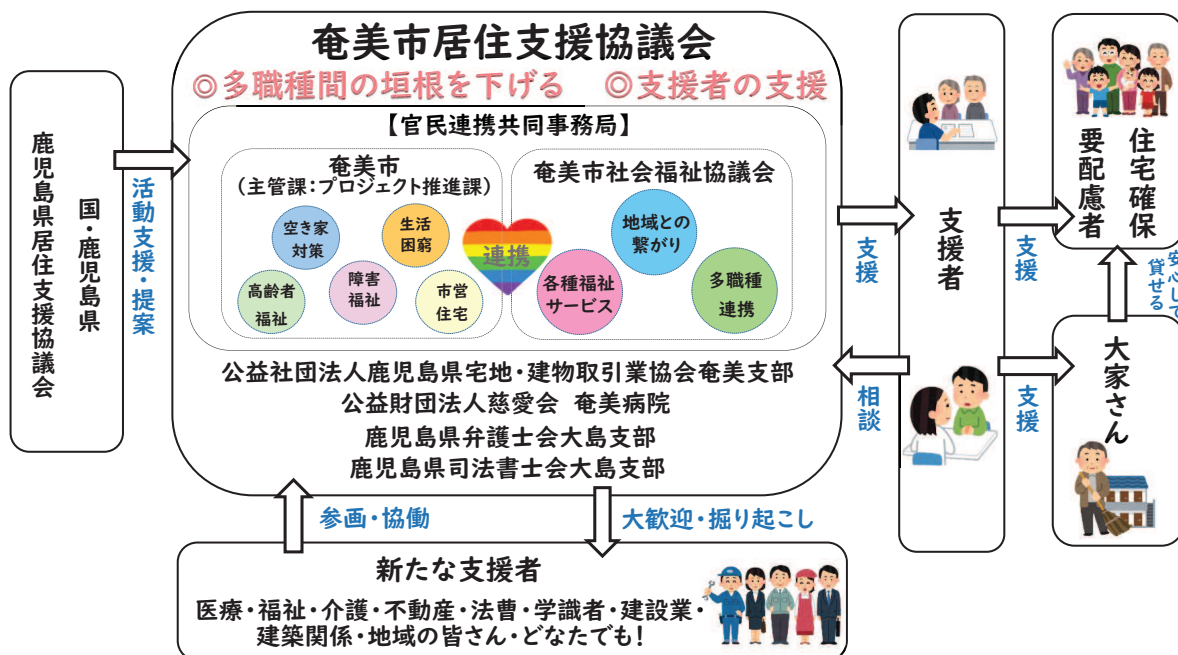
・ 難しい判断を支援者にひとりで決断させない。ひとりで悩ませない。

### 支援者が支援しやすい体制づくり



## 奄美市居住支援協議会 スキーム図

令和5年度～



走りながら考えて、その時々柔軟にかたちを変えながら・・・

# 行政職員の皆さんへお伝えしたいこと

## 居住支援協議会事務局は、官民パートナーシップ。



協議会設立がスタートライン!

業務委託じゃないぞ

### ご紹介 障害福祉・不動産事業者等による住まいの支援について

奄美大島5市町村で形成される奄美地区地域自立支援協議会の地域生活部会が障がいがある方向けの一人暮らしガイドブックを作成されました。このガイドブックは福祉的視点だけでなく公益社団法人鹿兒島県宅地建物取引業協会奄美支部の協力により不動産事業者の視点で大家さんが安心して貸せるよう配慮がなされています。



令和4年3月作成

### 奄美地区 障がいがある方の一人暮らしガイドブック

～ 部屋探しと生活のルールとマナー ～

一人暮らしに必要な知識を身につけよう

- 賃貸借契約を学ぶ
- 金銭管理を学ぶ
- 生活マナーを学ぶ
- 障がい福祉の支援を知る

実家から一人暮らしへ、退院して一人暮らしへ・・・など、ひとそれぞれの理由や夢、希望の実現のため、望む暮らしがあります。

この冊子は、借りる側の手引きです。それとともに不動産屋さん家主さんのような貸主の力にむけても、地域にさまざまな支援があることをご理解いただけるように作成しました。

奄美地区地域自立支援協議会 地域生活部会

### 一人暮らしのガイドブック

～ 住まいのルールとマナー ～

1) 一人暮らしの準備

2) 部屋探しの流れ

3) 賃貸契約の準備

4) 金銭管理の準備

5) 住まいの準備

#### 一人暮らしガイドブックのダイジェスト版

◀障がいがある方の一人暮らしガイドブック

#### 「暮らし」と「貸す人」

「暮らし」と「貸す人」の両面から「大家さん」は、賃貸物件を貸す人がどのような生活をしているのかを知ることが大切です。また、賃貸物件の状況や状態を、このガイドブックの「暮らし」のページから知ることができます。また、賃貸物件の状況や状態を、このガイドブックの「暮らし」のページから知ることができます。また、賃貸物件の状況や状態を、このガイドブックの「暮らし」のページから知ることができます。

<<暮らしと賃貸のフローチャート>>

【掲載事業者一覧】

奄美地区地域自立支援協議会	0907-62-1111
鹿児島県住宅政策センター	0907-63-2299
鹿児島県福祉センター	0907-62-2111
大塚建設株式会社	0907-67-2111
宇野建設株式会社	0907-47-2211
鹿兒島県建設協会	0907-72-1111
鹿兒島県建設協会	0907-62-3111

0907-62-1111

## さいごに



冒頭にご紹介したこの絵本の“とんとんとん…”の優しい響きは、まさに人間社会においては**安心できる住まいの確保を目指す『居住支援』**なのだと思います。

生物多様性の島・奄美においては、人間もそれぞれの個性や価値観を認め合い、安心して生活することができるよう連携し、対話を重ね、制度を構築することで行政が後押しし、居住支援を進めていきたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました

